大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2024年 第6週(2月5日~2月11日)

今调のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 高水準で続く」

第6週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は 2,630例であり、前週比 5.4%減であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、RSウイルス感染症の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ7.28、4.28、0.52、0.42、0.34である。

感染性胃腸炎は前週比 12%減の1,442例で、南河内11.69、堺市9.00、三島8.18、大阪市北部7.93、中河内7.70であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%増の848例で、大阪市南部6.67、堺市5.47、北河内5.32である。 咽頭結膜熱は34%増の102例で、南河内0.94、北河内0.84、泉州0.76であった。

手足口病は25%減の83例で、泉州1.19、三島0.71、大阪市南部0.56である。

RSウイルス感染症は31%増の68例で、南河内0.69、堺市0.63、大阪市北部0.57であった。

インフルエンザは7例増の9,076例で定点あたり報告数は29.56である。大阪市西部43.07、南河内42.21、堺市34.17、泉州33.32、大阪市北部32.20であった。7ブロックで警報レベル30を超えていた。10歳代で報告数が減少していた。

新型コロナウイルス感染症は16%減の2,400例で定点あたり報告数は7.82である。南河内12.17、北河内9.07、堺市9.00、大阪市北部7.95、大阪市南部7.48であった。全ブロックで減少した。全報告数は2023年45週以来初めて減少したが、70歳以上の年齢層では報告数が増加した。

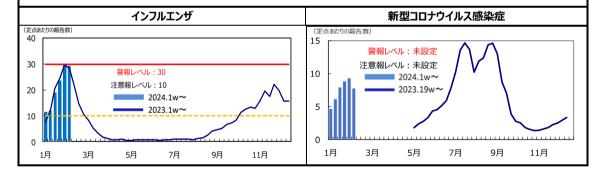


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2024年第6週2月5日~2月11日)

		1	1			
			2024年		2023年	2024年第6週の
第6週の	第5週の	感染症	第6週の	前週比	第6週の	年齢別
順位	順位	恩朱亚	定点あたり	増減	定点あたり	患者発生数
			報告数		報告数	最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.28	12%減	6.51	1歳_14%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.28	4%増	0.46	10-14歳_15%
3	4	咽頭結膜熱	0.52	34%増	0.12	3歳_23%
4	3	手足口病	0.42	25%減	0.09	2歳_34%
5	6	RSウイルス感染症	0.34	31%增	0.15	1 歳未満_35%
参考		インフルエンザ	29.56		28.12	10-14歳_30%
		(インフルエンザ定点報告疾患)				
参考		新型コロナウイルス感染症	7.82	16%減	-	10-19歳_17%
		(COVID-19定点報告疾患)				

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には 詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第6週のコメント

~侵襲性髄膜炎菌感染症~ 大阪府では、毎年2-4例の報告があります。

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌(Neisseria meningitidis)による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2~10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群(DIC)を呈する。髄膜炎ベルト(meningitis belt)とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌(血清型A、C、Y、W-135)ワクチンの任意接種が開始されている。

侵襲性髄膜炎菌感染症について(厚生労働省) 髄膜炎菌性髄膜炎とは(国立感染症研究所)



表 2. 大阪府全数報告数(2024年 第6週2月5日~2月11日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

報告数府内累集
₩ 積
14
1
1./
14
18
5
10
2
33
2
132
41名)
01名)

(2024年2月13日 集計分)